

令和7年度 第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 事務局報告

令和7年5月9日

台東区教育委員会 指導課教育改革係

目 的

- 台東区立学校における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童・生徒が持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成すること

名称「TAITO フューチャースクール」

- 「TA」は、「TAarget」
- 「I」は、「Innovation」
- 「TO」は、「TO the Future School」

未来に向けた目標志向と革新のある学校

所掌事項

1. 「令和の日本型学校教育」を実現するための学校教育及び教育環境に関すること
2. 校務の情報化等による学校の働き方改革の推進に関すること
3. その他の必要な事項

背景

新しい時代の学びの姿

【社会情勢の変化】

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

【「令和の日本型学校教育」の姿】

- 学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

新しい時代の学びの姿

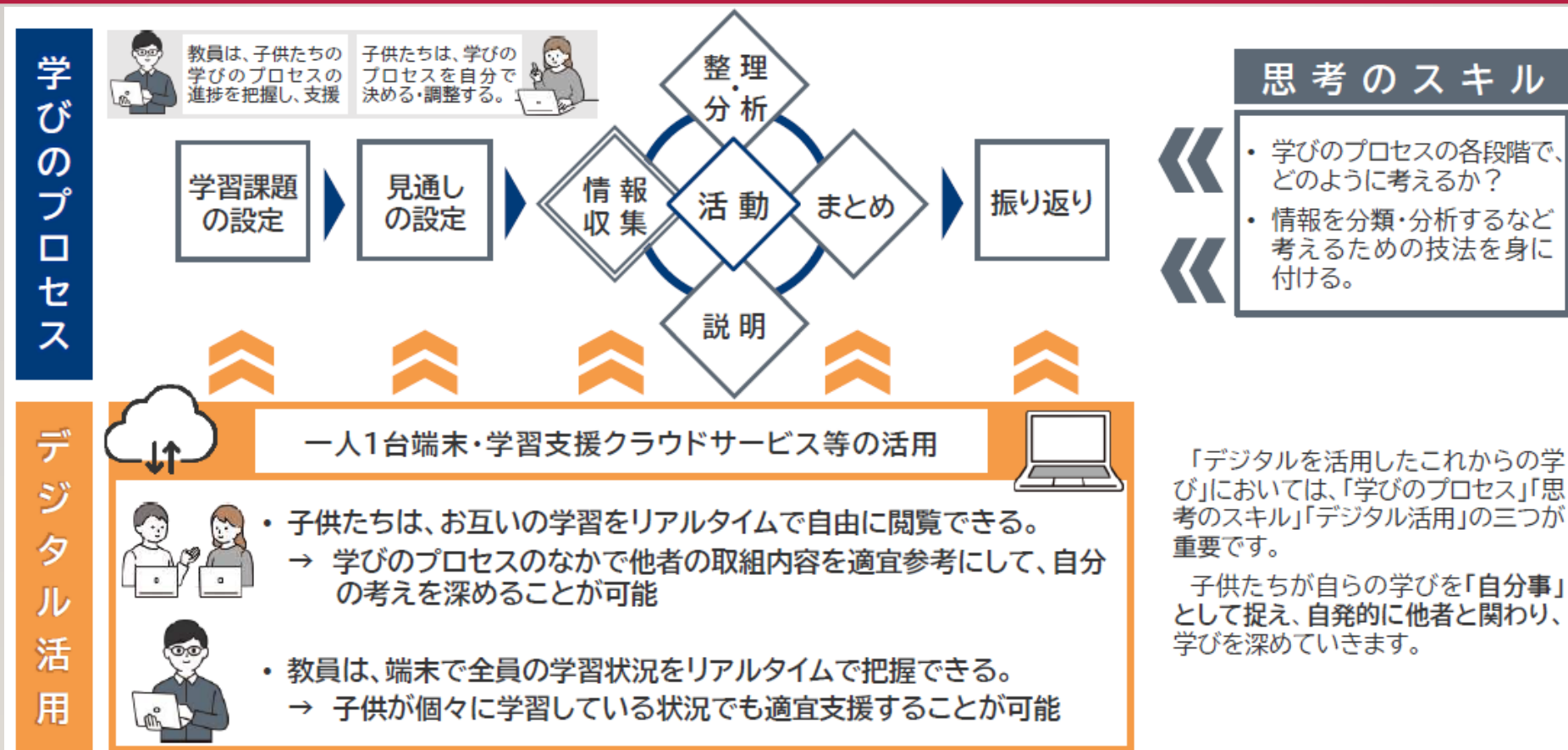
【「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性】

- 学習指導要領の着実な実施
- 学校における働き方改革の推進
- GIGAスクール構想、ICTの活用
- 少人数による指導体制の整備
- 9年間を見通した義務教育の在り方
- 地域社会や関係機関等との連携・協働
- 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応

デジタルを活用したこれからの学び

- 誰一人取り残さず、子供たち一人一人の力を伸ばしていくことを目指し、デジタルの力を生かして主体的・対話的で深い学びの実現を図っていく、これまでと大きく異なる授業の姿

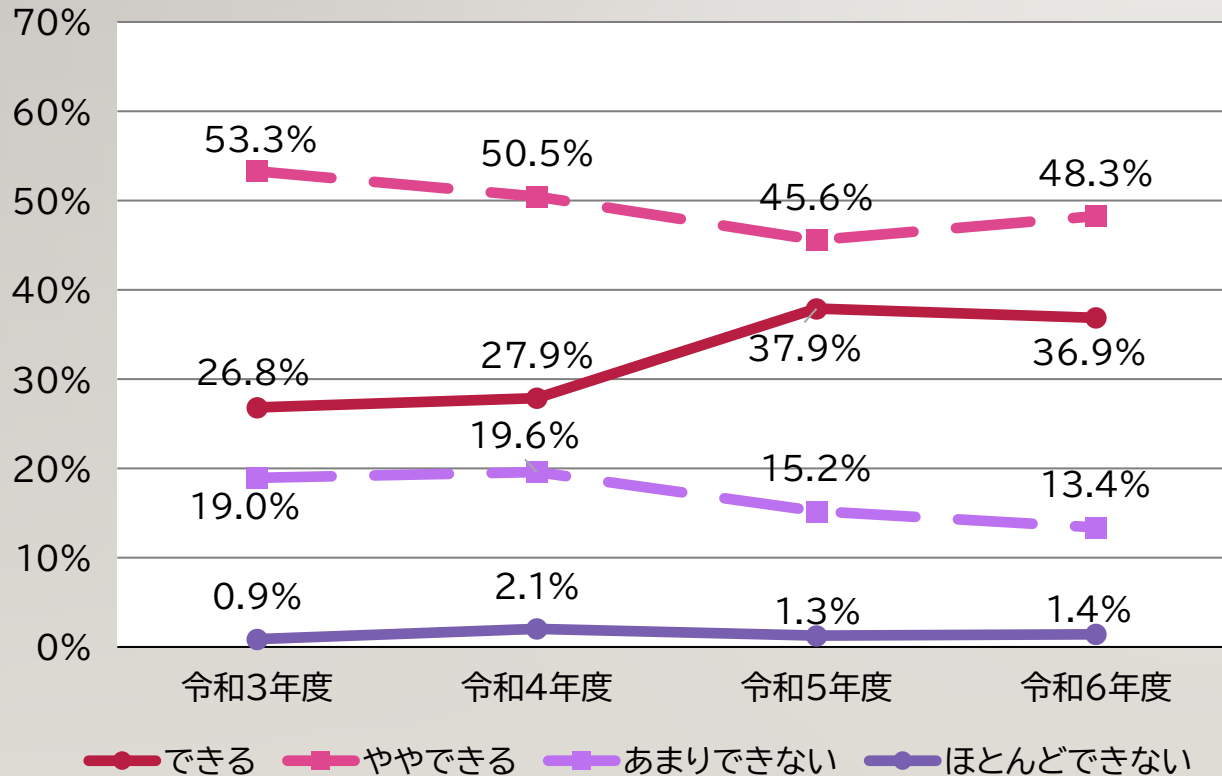
「デジタルを活用したこれからの学び」のポイント



台東区の現状

教員のICT活用指導力の状況

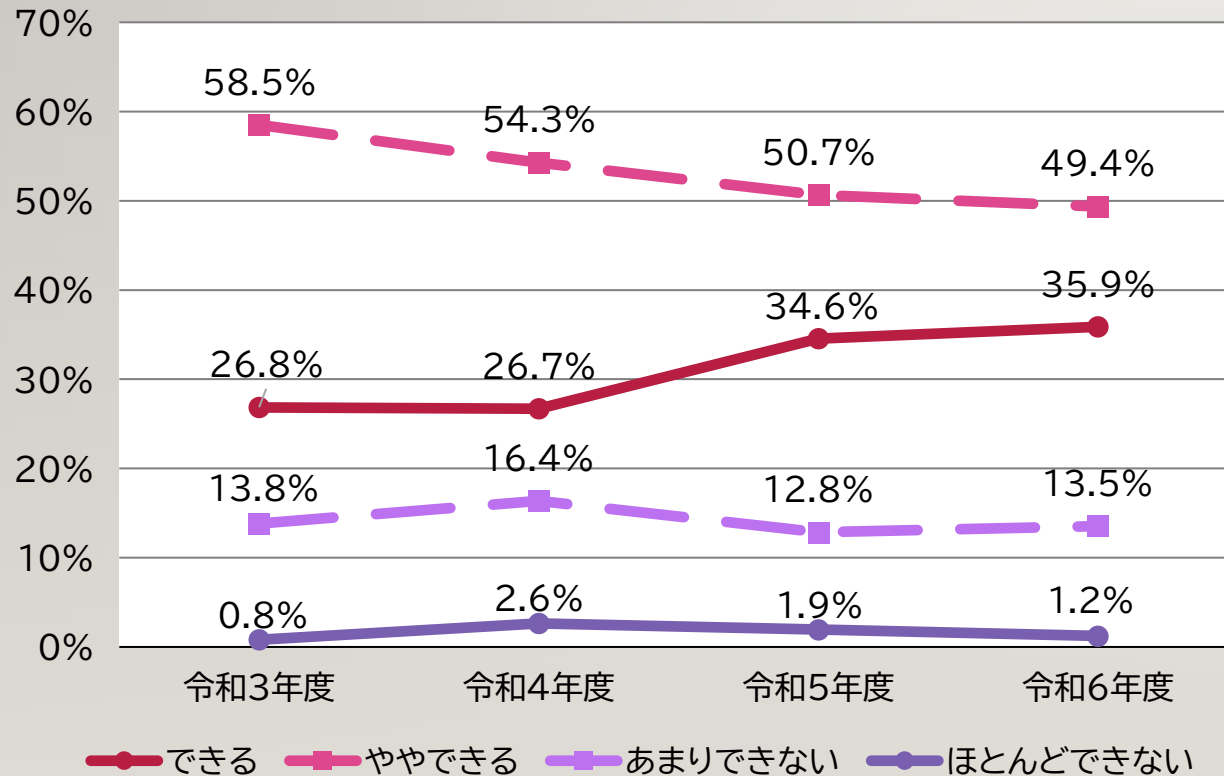
授業にICTを活用して指導する能力



- 「できる」「ややできる」と肯定的な回答をした教員が8割超
- 「ややできる」と回答した教員が増加
- 「あまりできない」と回答した教員が減少

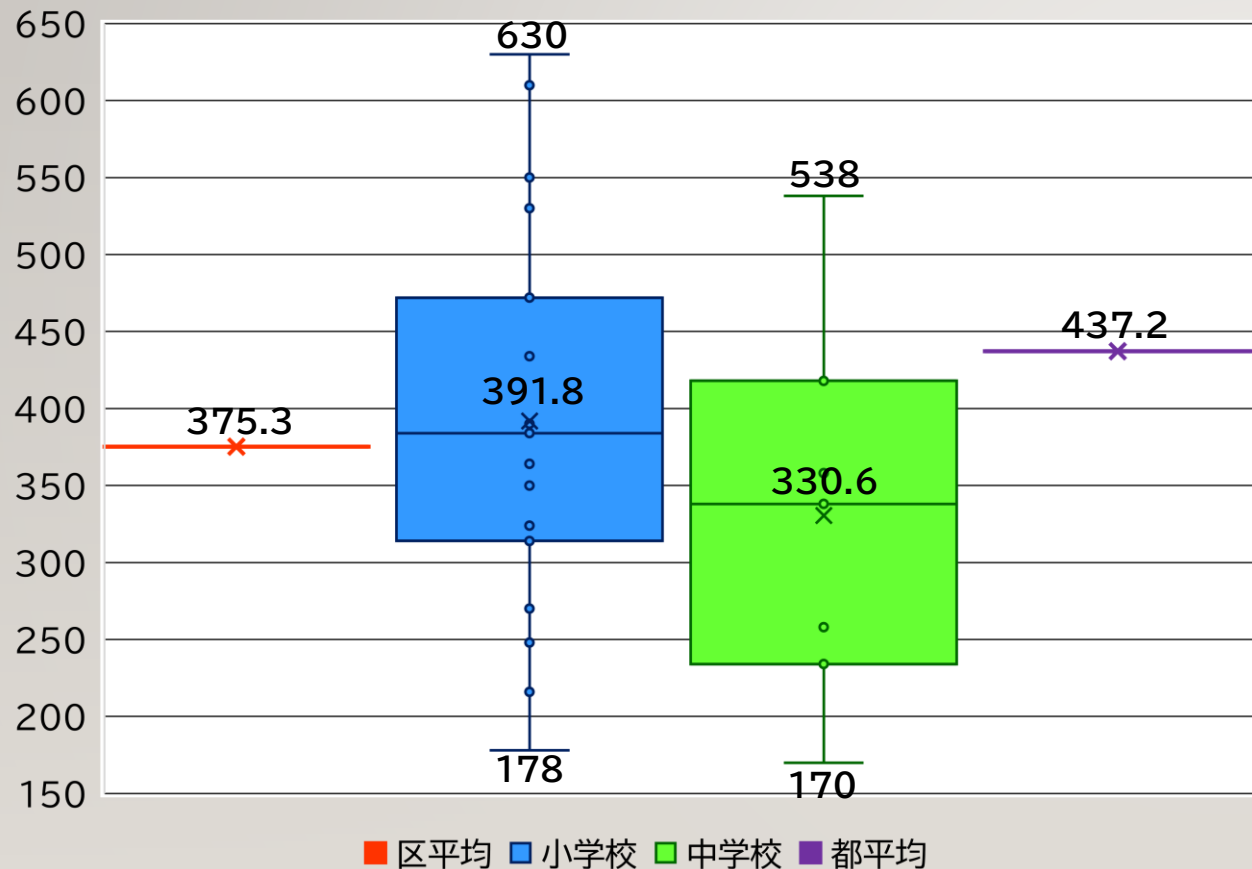
教員のICT活用指導力の状況

児童生徒のICT活用を指導する能力



- 「できる」「ややできる」と肯定的な回答をした教員が8割超
- 「できる」と回答した教員が増加
- 「ほとんどできない」と回答した教員は微減

GIGAスクール構想の下での 校務DX化チェックリスト



- 台東区の平均値は、東京都の平均値より、約60pt低い
- 小学校と中学校の平均値には、約60ptの差がある
- 小学校、中学校共に、学校間の差が大きい

昨年度の実績

昨年度の実績

- 検討委員会の開催 5/27、7/30、12/26
- 研究校の取組 台東区立上野小学校
 - Google Workspaceの導入・活用
- 先進校視察
 - 富山市立芝園小学校
 - 板橋区立板橋第十小学校
 - 豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校

コンセプト

一人一人が**学びの主演**として活躍し、
自分や**世界**を**変革**していく
学びを実現する

大切にする3つのI

学びの主役は
一人一人の**子供**
子供を導く
一人一人の**教師**

個別最適な学びと
協働的な学びを
実現するための
学習基盤としての
ICT

子供(教師)同士の
学び合いと
多様な他者と
協働した**探究**

在り方 ～子供たちの学びの視点からの取組～

- 一人一人に応じた多様で柔軟な学びの展開
 - 子供が学びを自己調整し、自ら教材・方法・ペース等を選択できる学習環境の構築
 - 子供が自らアクセスできる多様な学習材の活用
- 多様な他者とのつながりのある学びの展開
 - 異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す多様な他者との協働
 - 多様な地域・社会の教育資源の活用

在り方 ～子供たちの学びの基礎作りの取組～

- 情報活用能力の向上
 - 情報の収集、判断、表現、処理、創造、発信、伝達の質的向上
 - 情報モラル・リテラシーの向上
- 高いところざしの育成
 - 各教科における探究的な学習活動の充実
 - 個々のキャリア形成に資する教育活動の充実

在り方 ～子供たちの学びの環境作りの取組～

- 教職員の資質・能力の向上
 - 慣習や固定観念にとらわれない教職員の意識改革
 - 実践事例等の教育情報共有プラットフォームの充実
 - 生成AI等先端技術の有効活用
- 余白(ゆとり)の創出・活用
 - 校務系と学習系を統合した次世代ネットワークの整備
 - ABW(Activity Based Working)に基づいた多様かつ柔軟な教育施設の活用

TAITOフューチャースクールの在り方

一人一人に応じた多様で柔軟な学びの展開

- ・ 子供が学びを自己調整し、自ら教材・方法・ペース等を選択できる学習環境の構築
- ・ 子供が自らアクセスできる多様な学習材の活用

多様な他者とのつながりのある学びの展開

- ・ 異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す多様な他者との協働
- ・ 多様な地域・社会の教育資源の活用

情報活用能力の向上

- ・ 情報の収集、判断、表現、処理、創造、発信、伝達の質的向上
- ・ 情報モラル・リテラシーの向上

デジタルの力でリアルな学びを支える

デジタル学習基盤の充実

- ・ 汎用クラウドツールの活用
- ・ 学習支援ツールの活用

高いところざしの育成

- ・ 各教科等における探究的な学習活動の充実
- ・ 個々のキャリア形成に資する教育活動の充実

教職員の資質・能力の向上

- ・ 慣習や固定観念にとらわれない教職員の意識改革
- ・ 実践事例等の教育情報共有プラットフォームの充実
- ・ 生成 AI 等先端技術の有効活用

余白(ゆとり)の創出・活用

- ・ 校務系と学習系を統合した次世代ネットワークの整備
- ・ ABW(Activity Based Working)に基づいた多様かつ柔軟な教育施設の活用

検討事項

- 研究校における授業実践の検証及び課題解決
- 研究校における学習環境の検証及び課題解決
- 校務DX化及び教育データの利活用の推進
- 中間報告事項及び資料作成